

## It's important to think what you want to do in English.

よく聞く話かとは思いますが、英語はただのコミュニケーションツールですので、大切なことはそれを通して何をしたいかであります。語学そのものを極める。英語の参考文献を通じて研究したい分野の情報を自分の解釈で読み取る。もしくは、訳されていない資料さえ情報源とし、海外の研究者の考え方や物の見方を取り入れる。外国の方と研究開発を共に行う際のコミュニケーションツールとする。キャビンアテンダントになる。通訳になり、人と人との橋渡しをする。青年海外協力隊となって、外国で技術指導をする。バイヤーになり、海外の良品を日本にとり入れる。パイロットになる。日本の文化を世界に発信する。宇宙飛行士になる。海外でボランティア活動に勤しむ。もっと世界中に友達をつくる。英語の映画を字幕なしで見られるようにする。英語の歌の意味を知り、もっと好きになる。などなど、英語を使ってできることはたくさんあります。英語の力とともに、知りたいこと、語りたいこと、共有したいこと、大切にしていることを、ゆっくりで良いので見つけ、育てて欲しいと思います。また相手が大切にしていること、相手が語りたいことをしっかり聞き、理解する人間性を育てることも、お互いに忘れないようにしましょう。

昨今、自動翻訳が各個人の端末からでさえ簡単にできるようになりましたが、その精度はまだまだ完璧とは言えません。単語ひとつでさえ、近しい意味を当てはめることはできても。日本語と英語とでは、一対一の対訳をつけることができないように、微妙にニュアンスが違ってくるのです。**AI**が感情を持ち自ら判断し、自ら学習を進めることができないように、文や人の気持ちとなると、やはり自分の表情や語調、ジェスチャーや心を持ってしてやっと通じ合うというものではないかと私は思います。人間同士が付き合うわけですからね。もしかしたら、通訳という仕事は減ってくるかもしれませんが、これからも一人一人が異言語・異文化に通じているに越したことはないのです。また、授業で採算言っていますが、多くのもの（特にコンピューター関係）は英語圏で作られ発展してきていますので、英語の知識は必ずやその際の一助になります。私が留学中に会った韓国人の女性は、英語を学習するモチベーションとして”**English makes money.**”と言っていました。本当にその通りだと思います。彼女は、語学力そのものを自分の手に職として、英語習得を目指す人達に教える力のことを言っていたのですが、彼女の言葉は、きっとそれ以外の場面でも応用できるのではないかと私は思います。お金が全てではないですが、***I think English is one of the things that makes your lives, dreams, jobs, knowledge or words richer.***

自らの目を見て、自ら考え、自ら決め、素敵な人生を送って下さい。ありがとうございました。